

人権・平和・環境

あしだがわ

発行

南部生涯学習センター
福山市沼隈町草深 1889 番地 6(沼隈支所3階)

TEL 980-7713

FAX 987-2382

E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「あしだがわ」で検索!



クリスマスエール

「被災地に届けよう! 応援メッセージ」

コンサート

出演 **Ryo-hey**

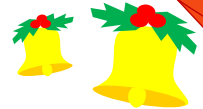
プロフィール

天から授かったメロウヴォイスと彩り豊かなギターで独自の世界を奏で続ける、福山市在住のシンガーソングライター、ギタリスト。

今回は、東日本大震災以後、震災に思いを馳せて書きためた曲を中心に演奏をしていただきます。



琴・ハンドベル



福山大学琴曲部による琴の演奏と今回のコンサートのために集まった有志のグループによるハンドベルの演奏をします。演奏する曲はお楽しみに!

コンサート終了後
抽選で100名に
ばら苗を配布します!



日時 **12月21日(日) 14:00~15:30**

場所 **沼隈図書館 2階市民ギャラリー**

展示・イルミネーション

巨大ツリーやリースなど、ボランティアのみなさんによるイルミネーション作品を会場に展示します。

期間 **12月17日(水)**
~12月25日(木)
13:00~17:00

場所 **沼隈図書館**
2階市民ギャラリー

「被災地に届けよう! 応援メッセージ」
にご協力ください!

今年も広島市の集中豪雨など、いくつもの災害が起きました。この冬を避難所で過ごす人が各地にいらっしゃいます。そこで応援メッセージを展示し、インターネットを通じて被災地に届けたいと思います。

みなさんのご協力をお願いします。

主催・申込み・問合せ 南部生涯学習センター TEL980-7713



しかくしょう とう りゆう ひと えいりもくてき のぞ ろくおん てんじ かくだい ひと
視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。



南部こんなんやるday



人権交流センター TEL: 951-5700

2014年ふくやま 人権・平和フェスタ

「第66回 人権週間記念の集い」

福山市人権交流センター開館40周年

～未来へのメッセージ～

と き 12月14日(日)

10:00～15:10

ところ 人権交流センター

内 容 10:00～ 40周年記念式典
10:35～ 未来へのメッセージ
13:00～ 音とリズムのメッセージ

※手話通訳あり ※入場無料

山手コミュニティセンター TEL: 951-5679

瀬戸コミュニティセンター TEL: 951-1809

ハートフルメッセージ2014

～いのち・ぬくもり・つながり～コンサート

と き 12月20日(土) 13:00～

ところ 瀬戸コミュニティセンター

出 演 ■読み聞かせサークル『おおきくな～れ』
絵本ライブ「過去に学び 未来へつなぐ」
■りとるコンサート トーク&ライブ
「東日本大震災」

～福島を訪ねて想うこと～



※手話通訳あり
※入場無料
※駐車場あり

南部生涯学習センター

TEL: 980-7713

第5回 南の春のばら祭 ローズパーティー ばらにちなんだ作品展 作品募集

今年度もローズパーティーを開催し、ばらにちなんだ作品を募集します。手芸品や写真、絵画や彫刻など、ばらをモチーフにしたものなら何でも結構です。生花のない季節、ばらを愛でるひとときにご協力ください。

受付期間 2014年12月8日(月)～3月6日(金)
と き 3月21日(土) 10:00～16:00
22日(日) 10:00～15:00
ところ 沼隈支所



ふくやま ♥ まちづくり大学

サテライト講座

『笑顔』あふれるまちづくり」～笑顔で計れば命の輝きが見えます～

と き 1月21日(水) 19:30～21:00

ところ 福山市人権交流センター ホール

講 師 和田 芳治さん(夫婦輝業人間幸学研究所)

定 員 100人



課外活動

「青年の父」山本瀧之助に学ぶまちづくり

と き 1月24日(土) 13:30～15:00

ところ 沼隈図書館内山本瀧之助記念室

定 員 30人(先着順・要申込み)



申込み・問合せ 南部生涯学習センター (TEL: 980-7713)

報告

済美校区人権問題講演会

発達障がいと向き合って生きること

～当事者からのメッセージ～

講師 広野 ゆいさん DDAC (NPO法人発達障害をもつ大人の会) 代表

12月3日に瀬戸コミュニティセンターで、広野ゆいさん(DDAC NPO 法人発達障がいをもつ大人の会代表)を講師に人権問題講演会を開催しました。発達障がいをもっと身近に感じてもらいたいという思いで、ご自身の特性についてお話をいただきました。

広野さんは「発達障がいには、一方的にしか考えられない、人の気持ちまで自分で決めつけてしまう、読み書き計算の一部のみができないなど、さまざまな特性があります。特性によっては、完全にできないわけではなく、他のやり方や支援があればできることもあります。

また、発達障がいは子どものころはわかりやすく、おとなになるにつれて分かりにくくなります。しかし、治ったわけではなく、我慢強くなっているだけで、子どもの頃は大きな障がいでなくても、我慢しすぎて大きな二次障がいができることもあります。子どもの頃の適正な支援で、発達障がいを進行させないことが大切です。支援の方法として、褒められることはうれしいですが、次もうまくやらなくてはいけないという、プレッシャーになります。褒めるのではなく一緒に、共感して同じ目線で喜んでもらえるとうれしいです。

私は普通になるために、たくさんのお話を聞いてきましたが、普通じゃなくてもいいと思うようになりました。出来ないことを克服しなくても良い。みんながそれぞれの特性を認め合うことが大切だと思います。」と話されました。



じんけんは ひとりひとりの たからもの

第2講座

現代の部落差別 ～取材を通して見えてきたこと～

講師：林 由紀子さん(毎日新聞大阪本社 社会部記者)

11月14日に山手コミュニティセンターで、林由紀子さん(毎日新聞大阪本社社会部記者)を講師に第2講座を開催しました。京都にある市立^{やさか}弥栄中学校の取材を通して、感じたことをお話しいただきました。

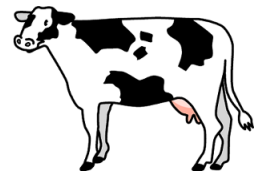
弥栄中学校には同和地区出身であることや養育院(児童養護施設)で暮らしていることが、社会に出て偏見を持たれることに不安を持ちながら、暮らす生徒が多くいます。学校では、部落差別などをテーマにした人権劇や研究会で、自分の思いを自分の言葉で伝える活動を行っています。

人権劇の台本は、生徒の体験や保護者の声、クラスで乗り越えたい壁をテーマに、先生が書きます。クライマックスは教室で、HRをしているシーンです。そのシーンだけ、せりふは白紙になっていて、自分たちで考えます。役者でない生徒も、リハーサルに参加できなかった生徒であっても、必ず席が用意されています。こうした一人ひとりを大切にする教育から、支えあい励まし合える「仲間作り」が行われていると感じました。

知らないから差別をされない社会でなく、知っていても差別されない社会がいい。もっと多くのひとに伝えたい、知ってほしい、みなさんと共に考えていきたいと話されました。

第3講座

いのちを食べて いのちは生きる

講師：^{はなぶさ}瀬瀬 あやさん(映画監督)

12月5日に山手コミュニティセンターで、^{はなぶさ}瀬瀬あやさん(映画監督)を講師に第3講座を開催しました。取材をしながら感じたことなど、映像を交えお話しいただきました。

「映像は、撮りたい情報だけ撮ることができ、視聴者も知りたいことだけ知ることができます。私は問題を理解するために、巻き込まれている人たちを撮影するのではなく、その人たちを理解して、そのまわりで起こっていることを知ることが大切だと思います。どういう立場で、だれの目線に立ってみるかで、情報はかなり変わって見えます。また、撮影の中で人の人生に関わる内容の場合、自分にどのような責任が取れるか、答えることができませんでした。しかし、自分の中にその撮影をあきらめるという選択肢は無く、責任がとれるとは言えないが、とれません・できませんと言いたくありませんでした。そうして、粘っているうちに皆さんに呆れられつつも、だんだん受け入れていただけました。『何がおきるかわからないが、何か問題がおきたら逃げずに最後まで一緒に乗り越えましょう。』と代表の方に言っていただき、差別や同和問題への知識が少なく、失言しないだろうかと心配していたが、違うことを違うと言い合える仲になりました。さまざまな出会いの中で、ルポライターの方に出会いその方から、『人間は生まれた時は純粋無垢で、成長するにつれて様々な種がまかれる。いい種も悪い種もあるが、知性という自らの意思で悪い種を取り除かなくてはいけない。』というお話を聞いて、知るということは頭で理解することとともに、実際に体験して、五感で感じるということが必要だと思いました。」と話されました。